



扉

雑誌名	東西南北
巻	2009
ページ	155-155
発行年	2009-03-18
URL	http://id.nii.ac.jp/1073/00001706/

モンゴル学術交流祭06

2006年12月2日 和光大学 J棟104教室

＝プログラム＝

第1部 研究発表

少数民族留学生の民族的アイデンティティの形成と教育に関する一考察
内モンゴル民族学校における英語教育の実施現状及び
学習者達による言語意識調査の分析

第2部 シンポジウム《モンゴル人の日本留学百周年》

1906年、モンゴル族学生の日本留学
日本留学期のサイチンガーの翻訳活動
中国籍モンゴル人の日本留学事情——20世紀後半を中心として

第3部 特別講演

内モンゴル・リグデン文学との出会い

第4部 文化交流会

2006年12月2日、和光大学総合文化研究所とモンゴル民族文化基金との共催により、恒例となったモンゴル学術交流祭が開かれた。

これはモンゴル民族の社会・文化・歴史に関心を持つ当研究所所員や共同研究員および主に内モンゴル出身関係者の協力で開催されてきたものである。

第一部は個別研究発表、第二部シンポジウム、第三部特別講演がおこなわれた。

2006年という年はモンゴル人の最初の日本留学生が来日してからちょうど百年にあたる。

シンポジウムはモンゴル人の日本留学をテーマとして報告と討論がおこなわれた。

本誌にはそのうちから、

この日の講演をもとに書き下ろした横田素子氏の論文を掲載する。

日露戦後まもなくの1906年、清とロシアと日本に囲まれた

複雑な国際情勢の中で、はじめての留学生たちは来日した。

これまでこの留学生たちの来日の事実は知られているものの、

その経過の詳細はほとんど知られなかった。

横田氏の講演と論文は、綿密な史料調査によってその足跡をたどったものである。

